

笠岡あいうえおカルタ読み句、題材一覧

	読句	所在地区	題材	解説
あ	あき うみ てんじんまつり わた 秋の海 天神祭 お渡りだ	神島	市指定重要無形民俗文化財 神島天神祭	神島7地区の千歳楽(せんだいろく)が、船を使って海から「島の天神」に集まってくる賑やかな秋祭りです。
い	いとくさんぶつ かさおかし いちじくが 特産物の 笠岡市	城見	笠岡産いちじく	笠岡市のいちじく出荷量は、岡山県内で第1位です。茂平を中心として、甘いいちじくが栽培されています。
う	うみ やま かこ かさおかし 海と山 囲まれている 笠岡市	笠岡市	笠岡市	笠岡市は瀬戸内海に面しており、笠岡諸島もあります。また内陸では山地が広がる、自然豊かなまちです。
え	さとやま さ エヒメアヤメ 里山に ひっそりと咲く	吉田	市指定天然記念物 エヒメアヤメ自生地	エヒメアヤメは春に咲く可憐な植物で、吉田地区に自生地があります。世界で最も東の自生地にあたります。
お	お つ ば にいやま とくら やしき 落ち着く場 新山だけの 土倉屋敷	新山	庄屋屋敷とくら	山口地区で庄屋・村長を務めていた土倉家の古民家が再生され、カフェや交流拠点として利用されています。
か	かみうらやま かいだんのぼ なが さいこう 神ト山 階段登れば 眺めは最高!	高島	国指定名勝 高島の神ト山	高島の神ト山(かみうらやま)。山頂に続く石段を登ると、高さ8mの巨大な石碑と展望台が待っています。
き	きたぎいし にほん れきし ささ 北木石 日本の歴史 支えてる	北木島	日本遺産構成文化財 北木石の丁場	北木島の花崗岩は北木石と呼ばれ、大坂城の石垣、日本銀行本店など日本を代表する建築物に使われています。
く	まわ おど くるりと 回って踊るよ よっちゃれ	笠岡市	笠岡よっちゃれ	昭和61年に作られた踊り。よっちゃれとは「寄っていらっしゃい」という意味です。
け	けいぎょうかんいま まな ささ 敬業館 今も学びを 支えてる	笠岡	市指定史跡 敬業館	敬業館は江戸時代に開かれた庶民のための学校です。初代教授は小寺清先で、多くの生徒を育てました。
こ	こうそと はる いろど やま 神外の 春を彩る 山ざくら	神島外浦	神島外浦の山桜	神島外浦一帯に、山桜が自生しています。白やピンクの花が山の至るところに咲いて、春をいろどります。
さ	さくらさ なが さいこう こじょうざん 桜咲き 眺めも最高 古城山	笠岡	古城山公園	戦国時代に村上氏の城があったことから、城山(しろやま)とも呼ばれます。笠岡で一番の桜の名所です。
し	しらいしおどりへいわ ねが ぼんおど 白石踊 平和を願い 盆踊り	白石島	国指定重要無形民俗文化財 白石踊	白石島に古くから伝わる盆踊りで、一つの音頭に合わせて何種類もの踊りを踊る点が特徴です。
す	さ むしま どうだい うつく スイセン咲く 六島の灯台 美しい	六島	六島の灯台	岡山県最南端の六島で、航路を見守っています。灯台に向かう小道には、スイセンが咲き誇ります。
せ	せんにんのか よろい で こぶんぐん 仙人塚 短甲が出た 古墳群	新山	市指定史跡 長福寺裏山古墳群	かさおか古代の丘スポーツ公園に隣接する古墳群。かつて短甲(よろい)が出土した仙人塚古墳もあります。
そ	そとうら まつ ぎょうれつ やっこ 外浦の 祭り行列 奴さん	神島外浦	神島外浦の奴行列	神島神社の秋祭りで、ちょんまげ姿の奴行列が行われます。長さ3mもある毛槍を投げ合いながら行進します。
だ	だいはくりよくしま でんとう はし みこし 大迫力 島の伝統 走り神輿	真鍋島	市指定重要無形民俗文化財 真鍋島の走り神輿	真鍋島の伝統行事で、3つの神輿が島の通りを猛烈な勢いで駆け抜けます。
ち	ちようぼこ あお みずうみ 丁場湖は 青き湖 きれいだな	北木島	日本遺産構成文化財 北木島の丁場湖	かつて採石していた丁場が採石をやめ、そこに雨水がたまって、湖のような不思議な景観が生まれました。
つ	つくも かいづか れきし ねむ つうがくろ 津雲貝塚 歴史が眠る 通学路	大島	国指定史跡 津雲貝塚	津雲貝塚は大島小学校の近くにあり、縄文土器や石器、骨角器のほか、縄文人骨がたくさん出土しました。
て	てつどうきねんかん きしゃ 鉄道記念館 かつこいい 汽車があるね	新山	笠岡市井笠鉄道記念館	大正2年から昭和46年まで走っていた井笠鉄道を記念して、新山駅の建物や機関車などが保存されています。
と	としよかん にわ しょうへいしけんひあん ひ 図書館の庭 捷平思軒比庵の碑	番町	笠岡市立図書館	笠岡市立図書館の前庭には、木山捷平の詩碑、森田思軒の顕彰碑、清水比庵の歌碑などが立っています。
な	なが びな きたぎ はま おく だ 流し雛 北木の浜から 送り出す	北木島	市指定重要無形民俗文化財 北木島の流し雛	北木島大浦の海岸で、紙雛を乗せた小舟を海に流し、家族の健康や子どもの成長を願う伝統行事。
に	にっこうじ かさおがしどう みわた 日光寺 笠岡諸島が 見渡せる	神島外浦	日光寺	日光寺は神島外浦の小高い丘の上であり、瀬戸内海を見渡すことができます。多くの文人たちも訪れています。
ぬ	ぬ なお いろ あざ すげねかんのんさま 塗り直し 色も鮮やか 助実観音様	大井	東大戸の助実観音	東大戸の助実地区にある観音様は、年1回、絵の具で色を塗り直します。大井盆踊り発祥の地ともいわれます。

ね	ねが こ くまの じんじや ゆみ しんじ 願い込め 熊野神社の 弓うち神事	陶山	熊野神社の弓うち神事	篠坂の熊野神社で行われる神事。男子が弓を射ることで厄をはらい、1年間幸せに暮らせるよう祈ります。
の	のぼ けしき みたけさん 登ったよ きれいな景色 御嶽山	大島	瀬戸内海国立公園 御嶽山	御嶽山は市内で2番目に高い山で、標高約320m。幻虹台と呼ばれる展望台から、笠岡諸島を一望できます。
は	はくあい かさおがだいかん い どへい ざ えもん 博愛の 笠岡代官 井戸平左衛門	笠岡	井戸平左衛門	江戸時代の笠岡代官。ききんにあたり、サツマイモを導入したので「いも代官」と呼ばれ敬愛されています。
ひ	えがら きそ げんべしかっせん ひったかは 絵柄で競う 源平合戦	金浦	市指定重要無形民俗文化財 金浦のひったか	ひったかは「ちょうちん」で絵模様を描く祭りで、東の山と西の山で絵柄を競い合います。
ふ	ふうけいが てほん ちっきょう 風景画 わたしのお手本 竹喬さん	番町	笠岡市立竹喬美術館	小野竹喬は笠岡出身の日本画家です。作品からは、自然の美しさ、ささやかな息づかいが伝わってきます。
べ	きせつ まんかい はな あじ ベイファーム 季節満開 花と味	干拓地	道の駅 笠岡ベイファーム	笠岡湾干拓地ははじめ地元でとれた農産物や鮮魚などを販売。四季折々の花が楽しめる撮影スポットも人気です。
ぼ	せんちょう かやはつとじ かた つ ぼくらの船長 茅原基治 語り継がれる ひとだす 人助け	北川	陽明丸船長 茅原基治	甲弩出身の茅原基治は、難民となっていたロシアの子ども約800名を陽明丸で救出しました。
ま	まいにち とうこう おだけんちょうもん 毎日 登校してるよ 小田県庁門	笠岡	市指定史跡 小田県庁門	明治時代のはじめ、笠岡に小田県の県庁があった時の名残。今では笠岡小学校の正門として使われています。
み	い きょうどかん せんぞ さま あ みんなで行こう郷土館 ご先祖様に 会 えるかも？！	笠岡	笠岡市立郷土館	笠岡市の歴史資料館。津雲貝塚や大飛鳥遺跡の出土品、古文書や古い生活道具などを展示しています。
む	むかし うみ かんたくち 昔は 海だった 干拓地	干拓地	笠岡湾干拓地	笠岡市では干拓や埋め立てが盛んに行われてきました。笠岡湾干拓地や番町地区も、元は遠浅の海でした。
め	めがねばし 眼鏡橋 カキツバタとの ハーモニー	金浦	県指定重要文化財 菅原神社眼鏡橋	吉浜の菅原神社にかかる眼鏡橋は、丸い2つのアーチが特徴の石橋です。池にはカキツバタが咲き誇ります。
も	もも さいばいばじ わたなべゆんいちろう 桃やナシ 栽培始めた 渡辺淳一郎	今井	渡辺淳一郎	広浜で生まれた渡辺淳一郎は、明治時代にいち早く果樹栽培に取り組み、今井地区に果物作りを広めました。
や	やまぐち きやましようへい う 山口で 木山捷平 生まれたよ	新山	木山捷平の生家	詩人・小説家の木山捷平は、山口で生まれ、東京に出て数多くの作品を発表しました。
ゆ	いっか み ゆるキャラ一家だ カブニ、カブ海、カ の ブ希、カブ望	笠岡市	カブニ、カブ海、カブ希、 カブ望	カプトガニのマスコット、カブニたちは、4人(?)家族でカプトガニ博物館に住んでいます。
よ	よんひゃくねん まち みまも 四百年 町を見守る しだれいちよう	笠岡	市指定天然記念物 遍照寺の枝垂れいちよう	遍照寺多宝塔の建立記念に植えられたといわれます。枝がすべて垂れさがっているの、こう呼ばれています。
ら	かさおか ちょう らーめんは やっぱり笠岡 超うまい	笠岡市	笠岡ラーメン	かつて養鶏業が盛んだった笠岡ならではのご当地ラーメン。チャーシューの代わりに「かしわ」を使います。
り	りょくどうこうえんみどり ころ 緑道公園 緑がいっぱい 心のオアシス	番町	十一番町緑道	番町の堤防を利用して作られた、市民の憩いの場です。水にふれる広場、芝生広場のある森などが楽しめます。
る	けんとうし いの おおびしまいせき 遣唐使が 祈りをささげる 大飛鳥遺跡	飛鳥	市指定史跡 大飛鳥遺跡	奈良・平安時代、海の神に宝物をささげて航海の無事を祈った場所。遣唐使も祈りをささげたかもしれません。
れ	れんしゅう かさ き あ おおしま かさおど 練習を重ねて 斬り合い 大島の傘踊り	大島	県指定重要無形民俗文化財 大島の傘踊り	大島地区に伝わる盆踊り。2人1組となり、傘を刀に見立てて斬り合うように踊るのが特徴です。
ろ	こ わせん きょうそう ろを漕いで 和船が競争 おしぐらんど	金浦	市指定重要無形民俗文化財 金浦のおしぐらんど	ひったかと同じく源平合戦になぞらえて、赤と白の2そうの和船が、金浦沖でレースをくり広げます。
わ	さくひん だいば ワコーミュージアム すごい作品 大発 っけん 見	番町	ワコーミュージアム	笠岡グランドホテルの中であって、自由に見学できます。郷土ゆかりの作品を中心に展示しています。
を	い かせき はくぶつかん 「生きている化石」をまもる 博物館	横島	笠岡市立カプトガニ博物館	天然記念物「カプトガニ繁殖地」の保護や、カプトガニの飼育を行っています。恐竜公園も人気があります。
ん	いし かじん 「ン」と「ム」といえば 医師で歌人の せきふおう 関梟翁	笠岡	関梟翁	関梟翁は江戸時代の人で、日本語の「ン」と「ム」の違いを明らかにした、国語学上の功績で知られています。